



2023年5月12日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドーリミテッド
代表者名 代表取締役社長執行役員 鍋割 宰
コード番号 3205
(東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 執行役員 白子田 圭一
(TEL : 03 -3257 - 5022)

特別利益および特別損失の計上ならびに業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、2023年3月期第4四半期連結会計期間（2023年1月1日～2023年3月31日）において、下記のとおり特別利益および損失を計上いたしました。また、2023年2月10日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上

2022年7月7日にお知らせしました通り、当社の連結子会社である株式会社ダイドーフォワードは、所有する固定資産を2023年3月31日に譲渡いたしました。これにともない固定資産売却益10,140百万円を特別利益に計上いたしました。

2. 特別損失の計上

新型コロナウイルス感染症の影響などによる事業環境の変化と、それにとまなう収益性の低下により、株式会社ダイドーフォワードおよび株式会社ブルックス ブラザーズ ジャパンが保有する衣料事業関連の資産について減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、固定資産の減損損失を計上いたしました。また、不動産賃貸事業では、当社の連結子会社である株式会社ダイドーフォワードが小田原に保有するオフィスビルについて、テナント退去後にリーシング活動を行ってまいりましたが、希望する条件でのテナント候補が見つからず現状での賃貸は困難であると判断し、ビルを解体して賃貸形態を変更することにしたことなどから、固定資産の減損損失を計上いたしました。結果として合計241百万円の減損損失を特別損失に計上いたしました。

3. 業績予想と実績値の差異

(1) 2023年3月期 通期連結業績予想数値と実績値の差異（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 27,900	百万円 △ 1,100	百万円 △ 800	百万円 6,000	円 銭 182.98
今回修正予想(B)	28,218	△ 481	△ 378	6,757	207.46
増減額(B-A)	318	619	422	757	—
増減率(%)	1.1	—	—	12.6	—
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	24,609	△ 1,771	△ 1,615	△ 3,544	△ 108.37

(2) 差異の理由

衣料用のテキスタイルを製造販売するイタリアの連結子会社では、原材料価格の高騰や不安定な国際情勢に伴う資源価格の上昇などに起因して、原材料を先行して確保することを希望する取引先から納期前倒しの依頼があり、第4四半期連結会計期間に売上高が計画比で増加し、販管費も削減が進んだことから営業利益が計画比で増加いたしました。国内の小売部門は、行動制限や規制が実施されなかったことから、来店客数の増加とともにオケーションニーズの回復などが見られ、計画比で売上高が増加し売上総利益率も改善いたしました。間接部門で販管費を削減できたこともあり、営業利益および経常利益は前回発表予想比で損失減少となりました。経常損失の減少や特別利益の増加などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想比で増加いたしました。

以上